

令和元年度 河野美術館及び今治城 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市河野美術館及び今治城
所在地	今治市旭町1丁目4番地8、今治市通町3丁目1番地3
指定管理者	<p>名称 一般財団法人 今治文化振興会</p> <p>代表者 理事長 檜垣 清隆</p> <p>住所 今治市旭町1丁目4番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>今治市教育委員会 文化振興課</p> <p>TEL: 0898-36-1608</p> <p>E-mail: bunka@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価	市による評価
総則	<p>A</p> <p>河野美術館は、文化芸術の振興に寄与することを目的とした施設であります。館蔵品の常設展・企画展のみならず、地域の作家の個展、グループ展及び近年では高齢者の生き甲斐づくりとしてなどの作品発表の場所として提供し、その利用価値は多大なものがあり、総括的には施設の目的達成のために非常に役立っていると考えています。業務を遂行する上で、地方自治法をはじめ指定管理者関係法令を遵守しつつ、その設置目的に沿いながら、事業を実施しました。</p> <p>今治城は、城郭の公開とともに郷土資料、美術品等の収集保管、調査研究及び展示を行うことにより文化向上に寄与することを目的とした施設であります。単なる城郭や郷土文化財の公開にとどまることなく、利用者参加型の事業を行うなど、郷土文化財の顕彰に努めています。業務を遂行する上で、地方自治法をはじめ指定管理者関係法令を遵守しつつ、その設置目的に沿いながら、事業を実施しました。</p>	<p>A</p> <p>指定管理者は、河野美術館においては、文化芸術の振興に寄与するという目的を十分理解し、また今治城においても、城郭の公開、郷土資料・美術品等の保管・展示を通して今治市民の文化レベルの向上に寄与するという目的を理解した上で業務を遂行している。</p> <p>加えて、当市の中心的な文化施設の管理運営を担う団体として、本市の文化行政推進についても理解した上で業務に取り組んでいる。</p> <p>今後も関係法令等を遵守し、施設の設置目的や管理運営の基本方針に沿った業務を継続して実施していただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用状況	A	<p>河野美術館は、観覧状況は年間7,539人で、前年度に対し1,108人(13%)の減少です。隔年開催の日本版画会今治巡回展の開催年でなかったことが主要因と考えられますが、全体的な傾向としては、貸会場も含めた入場者数は減少気味となっています。また、施設使用回数は1477回と前年度とほぼ同じです。使用料収入については増加となりました。</p> <p>今後も継続して情報発信や企画の充実、設備の改善に努め、利用数の増加および満足度の向上を目指します。</p> <p>今治城の観覧状況については、観覧状況は年間79,903人で、前年度に対し7,068人(10%)の増加です。平成30年7月豪雨災害による風評被害による観覧者数の落ち込みに伴う影響から回復し、入館者が増加したことによります。駐車場利用台数も使用台数が44,071台となり、同じく4,609台(12%)増加しました。但し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月については大幅減となりました。</p> <p>今後も継続して情報発信や企画の充実、設備の改善に努め、利用数の増加および満足度の向上を目指します。</p>	B	<p>河野美術館の利用者数は、隔年開催の事業に左右されるところはあるが、近年の状況を見ても減少傾向であり、利用者増加策の検討が必要である。</p> <p>今治城の利用者数は、平成30年7月豪雨災害の影響から回復し、一昨年度並みに推移していたが、新型コロナウイルスの影響により3月には観覧者が大きく減少した。</p> <p>災害等による利用者数への影響は避けられないところではあるが、ニーズの把握による新たな取組みや、魅力的な企画、継続的な周知活動等により、ターゲットの拡大を行い、利用者数の増加に繋がるよう努めていただきたい。</p>
事業収支	A	<p>河野美術館は、引き続き経費節減に努めていきます。</p> <p>今治城は、平成30年度7月豪雨災害による風評被害による観覧者数の落ち込みに伴う影響から回復し増収となると共に、経費節減に努め、法人全体で黒字を維持することができました。</p>	A	<p>両施設ともに、税理士との相談等により適切な会計処理が行われている。</p> <p>引き続き経営状況の分析を進め、適正な収支計画の立案、経費削減に努めていただきたい。</p>
管理運営体制	B	<p>河野美術館の人員配置の体制は仕様書のとおりであり、勤務ローテーションも関係法令どおり遵守しています。管理運営の根幹を成す収蔵品の管理・保存・調査研究、常設展・企画展の開催などは、主として各分野の学芸員の技量に負うところが多く、各種研修会等に積極的に参加しスキルアップに努めています。</p> <p>今治城の人員配置の体制は退職した学芸員1名の補充は応募がなかったため、代替の補助員で補っています。勤務ローテーションも関係法令どおり遵守しています。管理運営の根幹を成す収蔵品の管理・保存・調査研究、常設展・企画展の開催などは、主として各分野の学芸員の技量に負うところが多く、各種研修会等に積極的に参加しスキルアップに努めています。</p>	B	<p>両施設ともに、仕様書に基づく組織体制により適正に管理運営されている。研修も管理運営、資料保存、事務関係など様々な種類のものに参加している。</p> <p>これらの成果は、利用者アンケートでの職員対応の高評価にも現われていると思われる。</p> <p>研修や他事業への参加は、スキルアップのほかにも、取組み方によっては館のPRや人脈構築、新たな事業展開などにも繋げていけるものであり、積極的、効果的に活用いただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	A	<p>河野美術館は、仕様書で定めた管理業務基準及び関連法令等を遵守する中で、適正かつ効率的な管理業務を遂行するために、管理業務の手法の確立、速やかな執行、管理記録簿の充実等を図りました。</p> <p>今治城は、仕様書で定めた管理業務基準及び関連法令等を遵守する中で、適正かつ効率的な管理業務を遂行するために、管理業務の手法の確立、速やかな執行、管理記録簿の充実等を図りました。</p> <p>具体的には、河野美術館、今治城ともに</p> <p>(1) 指定管理者が自ら実施する部門と外部委託に発注する分野をよく見極め、安全・安心な施設環境を維持しながら経費の節減を心掛けるようにしています。</p> <p>(2) 業務委託を実施する管理業務については、業者を市当局の意見を参考にしながら選定し、着工前には業者と事前打合せを行い、施工時は職員が立会い、完了後は実施報告書を提出させ所要の成果が確保できるような監督体制を敷いている。</p> <p>(3) 修繕業務については、出来る限り速やかな対応に努めている。</p>	A	<p>両施設ともに、仕様書に従い各業務を適正に執行し、適切な事務処理等に努めている。</p> <p>今後も来館者が気持ちよく利用できる管理運営を行うとともに、経費の節減等に繋がるよう見直しも行いながら業務実施にあたっていただきたい。</p>
利用業務	A	<p>河野美術館は、玉川近代美術館との連携事業により、中学生や高校生を含めた幅広い世代を対象に文化芸術に触れ合う機会を提供することができました。</p> <p>今治城は、去年度の7月豪雨災害の風評被害から回復し、年間利用者は目標値より13%多くなりました。今後も、魅力ある常設・企画展示を開催し、宣伝効果の高い媒体を活用した情報発信を行うことにより集客力のアップにつなげます。</p>	A	<p>両施設ともに、窓口対応は適切に行われおり、手荷物預かりといった細やかな配慮も行いサービス向上に努めていることが評価できる。</p> <p>宣伝広報においても、広報誌やマスコミへの情報提供、特に今治城ではHPブログやFMラジオでの情報発信、旅行者への誘致活動など積極的に実施している。</p> <p>引き続き、ニーズの把握や分析に努め、魅力的な取組みや積極的な周知活動により、新規利用者の獲得やリピーターを確保し、入館者数の増加に繋げていただきたい。</p>
その他業務	A	<p>河野美術館は、特に重大な事故は発生しておらず、順調に推移しています。「河野美術館緊急時対応マニュアル」や「消防訓練実施要領」を作成し、事故や災害等に備えています。省エネ対策、喫煙対策や個人情報に関する対応はそれぞれ職員の教育を行っており、職員の意識の醸成が図られています。今後ともこの状態を維持・向上できるように施設の改善を図ると共に職員の教育に取り組んでいきます。</p> <p>今治城は、特に重大な事故は発生しておらず、順調に推移しています。また消防訓練を実施し事故や災害に備えています。</p>	B	<p>両施設ともに、利用者の安全確保とサービスの向上を意識し管理運営に取り組まれており、職員の意識醸成に繋がっていると思われる。</p> <p>また、各種のマニュアル整備や職員教育等の実施により、非常時への備えに取り組んでいる。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
<p>修繕業務</p>	<p>A</p>	<p>河野美術館は、老朽化が進み、施設本体や機械設備の劣化が目立っています。修繕の優先度合いとしては、来館者や職員の危険防止・安全確保に関するもの、収蔵文化財の保存管理に関するもの、快適な施設の利用環境の向上に資するものの順に、緊急性の高いものから実施するようにしています。収蔵品の修繕も実施いたしました。堅樋部分補修、入口階段部天板修繕、茶室中門修繕、1階外階段壁・玄関前土間修繕等を実施しました。</p> <p>今治城では、老朽化が進み、施設本体や機械設備の劣化が目立っています。修繕の優先度合いとしては、来館者や職員の危険防止・安全確保に関するもの、収蔵文化財の保存管理に関するもの、快適な施設の利用環境の向上に資するものの順に、緊急性の高いものから実施するようにしています。山里櫓空調室内機ドレン配管の修繕、御金櫓外壁修繕、武具櫓・東多門櫓屋根の修繕、倉庫間仕切り、照明器具のLED化、ライトアップ照明等の改修を実施しました。</p>	<p>A</p>	<p>両施設とも、施設が老朽化しており、そのことを十分把握し優先順位を付けながら適正迅速に数多くの修繕を行い、収蔵品の修繕も計画的に進めている。</p> <p>その他、今治城天守はこれまで土足禁止であったが、観覧者が利用しやすいよう靴のままでの観覧を可とし、観覧者の利便性向上が図られており評価できる。</p>
<p>備品管理業務</p>	<p>A</p>	<p>河野美術館は、修繕等で備品の耐用年数の延長を図り、経費節減に努めています。</p> <p>今治城は、来館者の快適性の向上や、修繕等で備品の耐用年数の延長を図り、経費節減に努めています。収蔵品の保管や企画展等の周知を図るために必要な物品を購入しました。貸与車輛は日常点検・定期点検を実施するとともに、運転日誌を作成して適正な運行管理に努めています。安全運転の励行については、館長が朝礼等で注意喚起を行っています。今治城復元イラストは、今治市に寄附いたしました。</p>	<p>A</p>	<p>両施設ともに、備品管理が適切に行われ、修繕等も行いながら大切に使用されている。</p> <p>収蔵庫が十分ではない環境の中、収蔵スペースの拡充や整備も行っており、これは収蔵品の保護のためにも必要なことであり評価できる。</p>
<p>行政財産の目的外使用許可 手続業務</p>	<p>A</p>	<p>河野美術館は、仕様書の定めに従い管理運営収入としました。</p> <p>今治城は、仕様書の定めに従い管理運営収入としました。</p>	<p>A</p>	<p>目的外使用の許可手続き、収益処理とともに適切な事務手続きが行われている。</p> <p>今後も、収入の推移にも気を配り、利用者ニーズの把握、利便性の向上に一層努めていただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
自主事業	B	<p>河野美術館は、館蔵品の名品を広く地域住民に公開すると共に、地域の美術文化に寄与する様テーマを決め展示し、また地域で活躍している作家達の作品発表の場を提供する為の努力もしており、一定の成果を上げています。約1万点の収蔵品を擁する施設の魅力・存在感を来館者をはじめ多くの人たちに再認識してもらいました。</p> <p>今治城は、地域の学術文化の発展に寄与するため、常設展示に加えて、今治城および今治地域に関わる歴史や芸術をテーマにした企画展また写真コンテスト入賞作品展を行いました。また継続事業のスタンプラリーに加えて、新規事業として高校生以下を対象とした夏休みクイズラリーを実施し、地元及び若年層への周知に取り組み、一定の成果を上げました。</p>	B	<p>両施設ともに、多様な自主事業を行い地域の文化向上に貢献していることは評価できる。</p> <p>河野美術館では、絵画教室や講演会、ワークショップ等の開催により、新たな人材育成や芸術への関心を高める取組みも行っており、今治城でも、企画展等の開催のほか、子供達が楽しみながら郷土史を学べるクイズやスタンプラリー等を行っている。</p> <p>また、職場体験やインターンシップ等受入れにも尽力している。</p> <p>今後も、新たな事業に挑戦し、文化や芸術の振興、施設全体の利用増につながる魅力ある事業の展開に努めていただきたい。</p>
地域団体との連携	A	<p>河野美術館は、文化意識の醸成や利用率のアップにもつながることから、「今治市河野美術館を育てる会」や地域の文化団体と連絡を密にし、地域の文化を振興し、その成果の発表の場として、積極的に連携に努めました。玉川近代美術館との連携・協力事業も継続実施しています。これらの取組みを通じて、施設の有効活用、利用者間交流、職員等の人材育成につなげようと考えています。</p> <p>今治城は、「全国城郭管理者協議会」について、全国の城郭が抱える共通の課題や問題点を相互に認識し、よりよい方向へ導く方策を検討する機関として活用しています。</p> <p>「今治地方観光ボランティアガイドの会」には、総合学習、校外学習の時間や遠足の機会を利用して来城する小中学生を対象に、今治市の歴史・文化に対する知識や理解、愛着を深めてもらうために、ガイドを依頼しています。また、土・日・祝日の来城者や団体旅行者への観光ガイドサービスについては、利用者から好評をいただいております。桜井史談会とも共催で事業を実施しました。</p>	A	<p>河野美術館は、従前から地域の文化団体等と連携を図り、地域の方との共同企画事業、市民主体の事業も多数実施されている。こうした事業の継続的な実施は、各団体との固い結びつきによるもので、評価できる。</p> <p>今治城においては、ボランティアガイドや史談会などと互いに協力関係にあり、館運営や学芸業務での連携が図られており評価できる。</p> <p>引き続き、既存の地域団体との協力関係を深めていくとともに、新たな団体や類似施設等と連携の範囲を積極的に広げていただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	B	<p>河野美術館は、アンケート調査を形式的なものとせず、その要望に対して可能な限り対応しなければならないという基本的な考え方に基づいて、職員の指導、展示環境の改善、施設の改修などを実施しています。接客対応や展示内容の良し悪しといったソフト部門では概ね高評価を得ていますが、ハード面では、施設の構造そのものや老朽化した設備に対する不満も見受けられます。建設されてから、50年以上の年数が経過しており近代的な施設とは比べようもありませんが、利用者からは常に使いやすく快適なサービスを求められます。</p> <p>今治城では数年来、アンケートの要望を踏まえて、職員の意識を高めると共に、展示解説の改善、パーテーションの活用による展示室内の順路の設定、うちの貸し出し、新たにミストファンを設置すると共に扇風機、セラミックヒーターの設置など、可能な範囲で改善してきました。本年度は接客対応や展示内容の良し悪しといったソフト部門では概ね高評価を得ていますが、改善要望については、今後も引き続き、可能な限り対応していきます。一方で、ハード面では、施設の構造そのものや老朽化した設備に対する不満も見受けられます。建設されてから、かなりの年数が経過しており近代的な施設とは比べようもありませんが、利用者からは常に使いやすく快適なサービスを求められます。</p> <p>両施設共にこれらの根本的解決方法は施設の改修であると考えており、市当局におかれは、出来る限り早い段階で具体的な整備計画を立案されるよう希望します。</p>	B	<p>両施設ともに、利用者の評価やニーズの把握に役立つようアンケートを実施し、結果を踏まえ、対応可能な取組みを順次行っている。</p> <p>今治城で夏休み企画として取り組まれた観覧者の住所調べは、貴重なデータ収集となったほか、公開することで観覧者にも分かりやすく伝えることができ評価できる。</p> <p>今後も、より多くの利用者のデータや貴重な意見が集約できるよう、アンケート実施方法の工夫に努めていただきたい。</p>
事故・苦情	B	<p>河野美術館は、特段の事故や苦情は発生していません。引き続き事故の未然防止に努め、事故発生の場合は、被害者の立場に立った適切な措置を行います。また、苦情についてもスタッフ一同接客対応に際し、情報の共有化を図るため発生事案について利用者からの苦情の内容等を書面にて報告するよう周知徹底しました。</p> <p>今治城は、特段の事故や苦情は発生していません。引き続き事故の未然防止に努め、事故発生の場合は、被害者の立場に立った適切な措置を行います。また、苦情についてもスタッフ一同接客対応に際し、情報の共有化を図るため発生事案について利用者からの苦情の内容等を書面にて報告するよう周知徹底しました。</p>	B	<p>両施設ともに、事故は発生していない。このことは普段からの適切な管理、未然の防止に努めている結果であり、今後も些細なことを見逃さないよう、業務に従事していただきたい。</p> <p>苦情対応については、利用者の立場に立って迅速丁寧な対応を行い、運用改善に繋げていくとともに、情報の蓄積、共有も図っていただきたい。</p>
指定管理者の経営状態			指定管理者として問題なく経営が行われている。	

総合コメント(市)

指定管理者は、当該施設の設置目的を理解し、関係法令や協定書、仕様書に従って適正に業務を実施している。老朽化した施設で十分な設備とは言えない面がある中で、利用者により良いサービス提供を行い満足度向上に努め、事故もなく管理運営ができていることは評価できる。

令和元年度の利用者数は、平成30年7月豪雨災害の影響から回復し、一昨年度並みに推移していたが、年度末には新型コロナウイルスの影響により、今治城で大きな減少となった。

災害等の発生は、利用者数に大きな影響が出てしまうが、引き続き、利用者ニーズの把握・分析を進め、その結果を踏まえた自主事業などを積極的に展開し、あわせて様々な周知活動により、更なる入館者増や市の文化振興推進策への貢献を期待する。